

「モノ認識」と「モバイル」を中心に  
IoTで世界を変える

IoT × **AsReader**  Digital  
Transformation

2024年8月期期末 決算説明資料

株式会社 アスタリスク

証券コード：6522

2024年10月15日



◆本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

◆別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

◆当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

## 第一部：2024年8月期 期末業績報告

- (1) 連結業績
- (2) セグメント別業績
- (3) 地域別業績
- (4) K P I
- (5) 株式関係

## 第二部：その他企業情報

- (1) 2025年8月期 業績予想
- (2) 直近のリリース情報
- (3) 直近の展示会出展予定
- (4) 2025年8月期以降の戦略



# 第一部：2024年8月期 期末業績報告

---



## (1) 連結業績

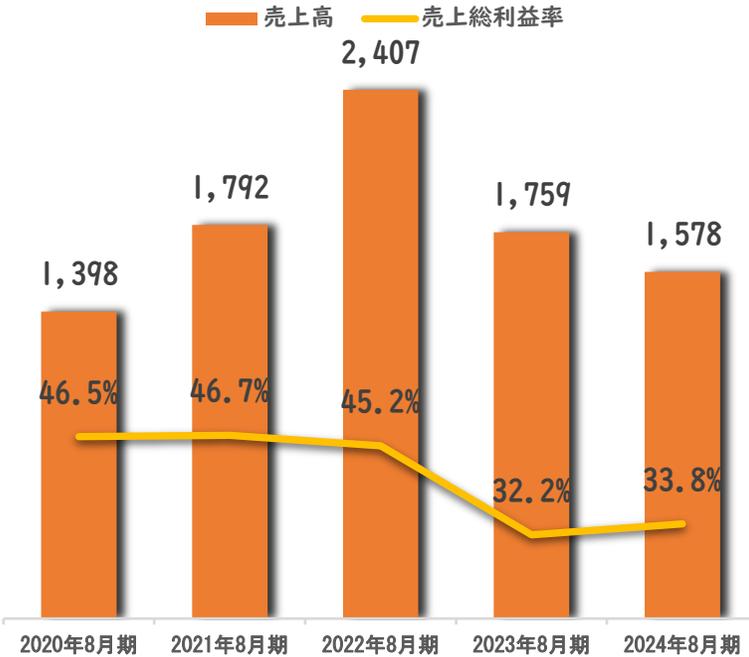
---



## 【財務ハイライト】直近5期間 連結ベース

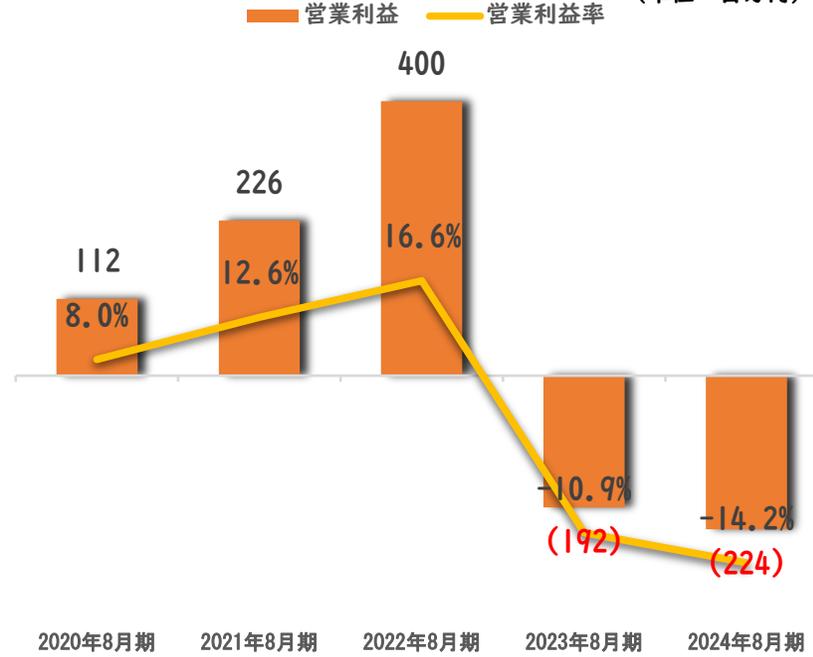
### 売上高と売上総利益率

(単位：百万円)



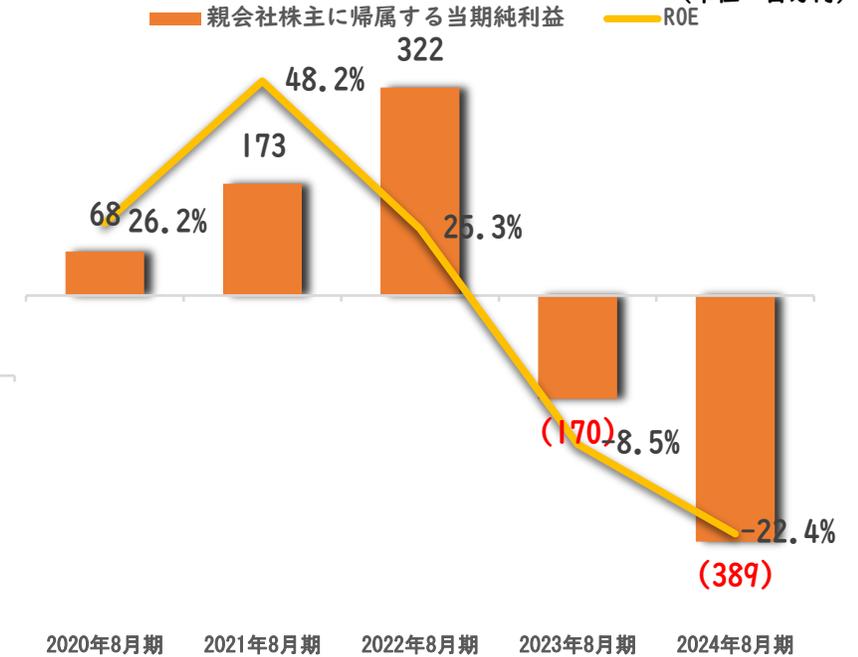
### 営業利益と営業利益率

(単位：百万円)



### 親会社株主に帰属する利益とROE

(単位：百万円)



- 前期比 売上高 10.3%の減収 営業利益▲224百万円（前期は▲192百万円）
- 売上総利益率は為替相場（円安）の影響等があったものの、売上総利益率の良い製品の販売があり1.6%の改善
- 営業利益率は▲14.2%と前期▲10.9%から3.3%の悪化

【損益状況】 2024年8月期期末業績予想比較

(百万円)

	2024年8月期 期末 (業績予想)	2024年8月期 期末 (当期実績)	(業績予想比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,813	1,578	▲ 235	▲13.0%
売上総利益	617	533	▲ 83	▲13.5%
売上総利益率	34.0%	33.8%		
営業利益	▲ 389	▲ 224	165	—
営業利益率	—	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 481	▲ 389	91	—
当期純利益率	—	—		

■業績予想比較について

売上高については、国内においては卸・小売業界向け案件、海外においては製造業界向け案件の受注獲得が、業績予想作成時において想定した数値程進まず、業績予想比13.0%減少の1,578百万円となりました。

営業利益については、販管費（主に人件費・支払手数料）の計画比減少があり、業績予想比+165百万円の▲224百万円となりました。

## 【損益状況】 2024年8月期期末前年同期比較

(百万円)

	2023年8月期 期末 (前期実績)	2024年8月期 期末 (当期実績)	(前年同期比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,759	1,578	▲ 181	▲ 10.3%
売上総利益	566	533	▲ 32	▲ 5.7%
売上総利益率	32.2%	33.8%		
営業利益	▲ 192	▲ 224	▲ 32	—
営業利益率	—	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 170	▲ 389	▲ 219	—
当期純利益率	—	—		

### ■前年同期比較について

国内においては小売業界など様々な業界への納品が進んだものの、前年同期比5.2%減少1,445百万円となりました。

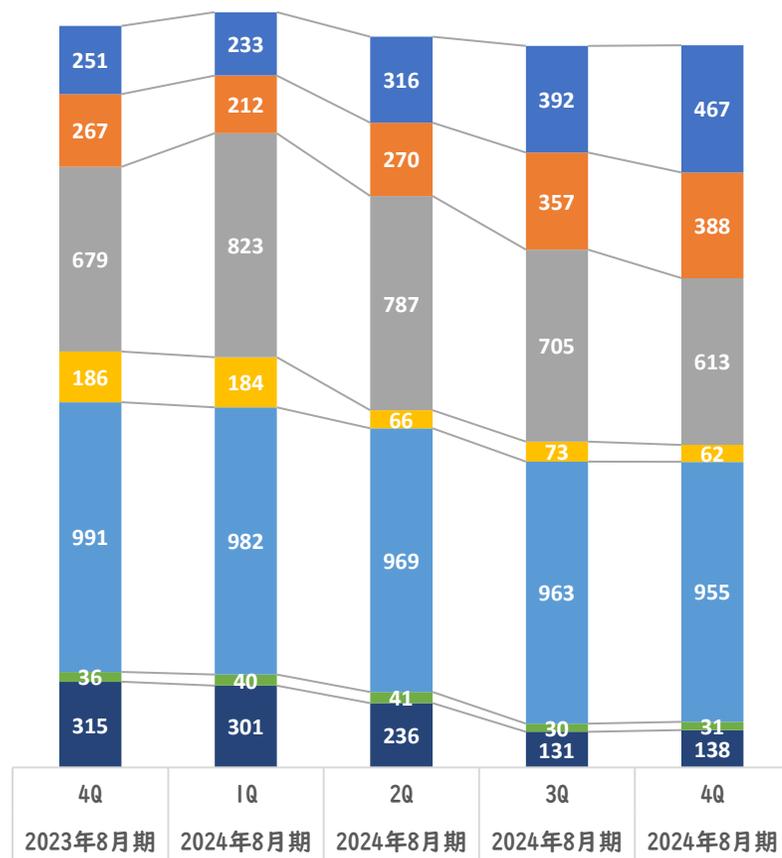
海外においては、米国での販売が前年同期比増加を見込んでおりましたが、飲料メーカーへの追加納入があった反面、いくつかの新規大口案件の商談が進展していたものの、2024年8月期中の納品まで進めることは叶わず107百万円となりました。

この結果、売上高は前年同期比10.3%減の1,578百万円となりました。

## 【連結貸借対照表】2024年8月期期末

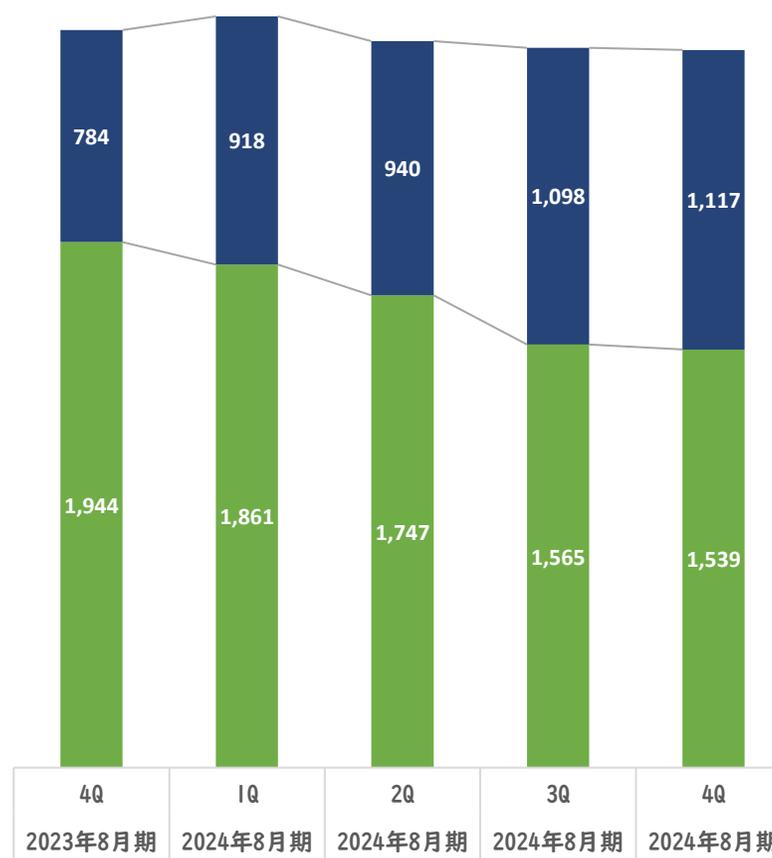
### (1) 資産

(百万円)



### (2) 負債及び純資産

(百万円)



### 第3四半期からの動き

#### 【(1) 資産関係】

① 現金及び預金の増加  
75百万円

② 棚卸資産の減少  
62百万円

#### 【(2) 負債及び純資産関係】

著増減なし

■ 投資その他の資産   ■ 無形固定資産   ■ 有形固定資産  
■ その他流動資産   ■ 棚卸資産   ■ 売上債権及び契約資産  
■ 現金及び預金

【連結キャッシュ・フロー計算書】2024年8月期

(百万円)

	第15期	第16期	第17期	第18期
	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期
営業キャッシュ・フロー	380	300	▲ 687	▲ 74
投資キャッシュ・フロー	▲ 303	▲ 518	▲ 491	▲ 27
財務キャッシュ・フロー	16	780	491	298
手許資金残高	348	936	251	467

①営業キャッシュ・フロー  
前年同期比で613百万円増加しております。これは2024年8月期における営業損失による影響と、棚卸資産の減少によるものであります。

②投資キャッシュ・フロー  
顔認証技術実証実験用飲食店設備及び製品の金型が主な内訳になります。

③財務キャッシュ・フロー  
短期借入金の純増205百万円及び長期借入れによる収入100百万円によるものであります。

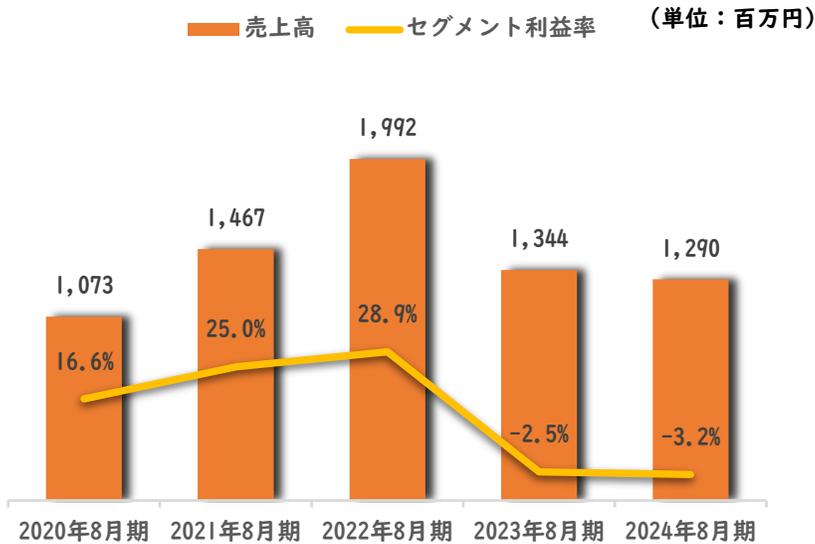
## (2) セグメント別業績

---

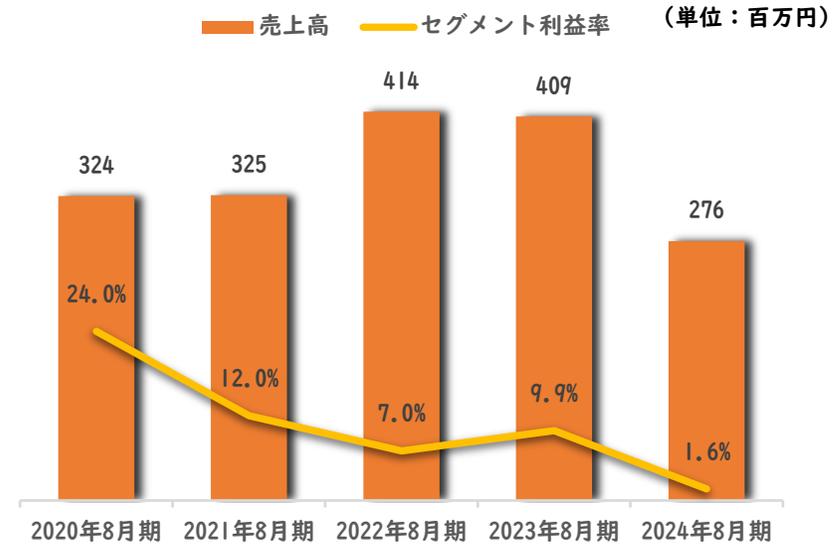


## 【セグメント別業績】

### AsReader事業



### システムインテグレーション事業



#### ■AsReader事業

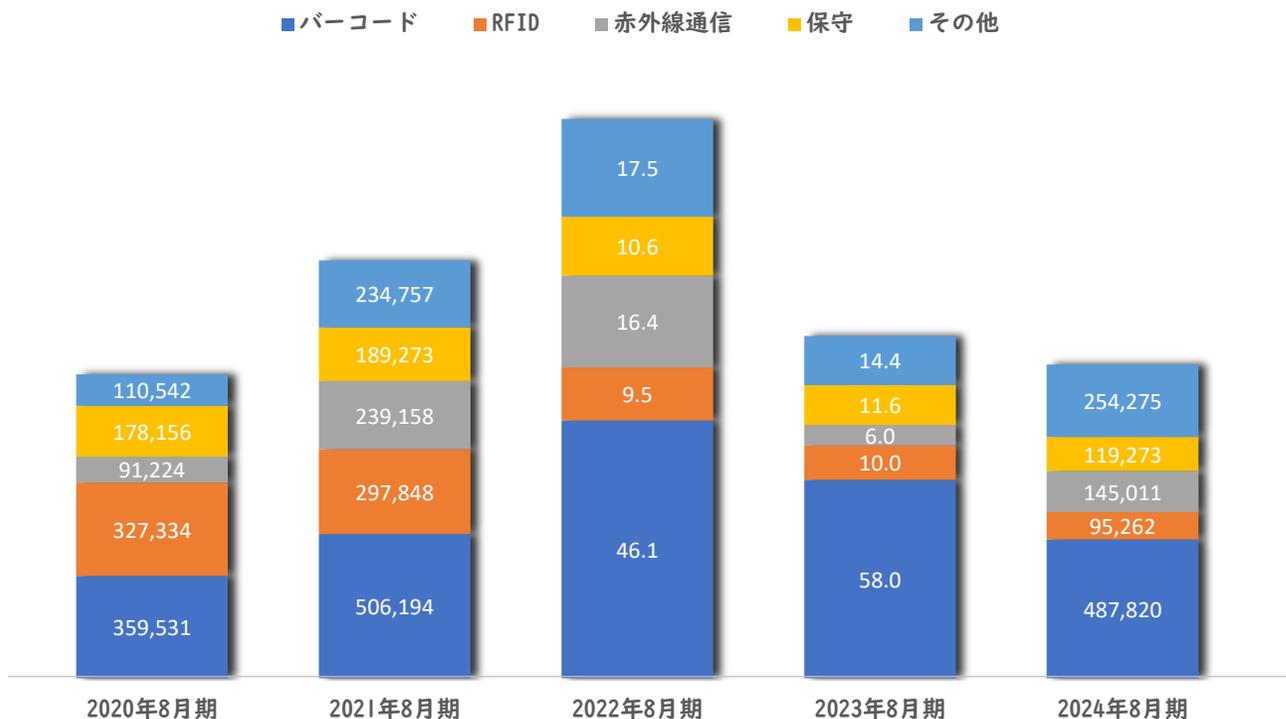
2024年8月期は国内、海外共に前年同期比で減少する結果となりました。いくつかの新規大口案件の商談が進展していたものの、2024年8月期中の納品まで進めることは叶わず、売上高は減少、利益率も悪化の結果となりました。

#### ■システムインテグレーション事業

2024年8月期は売上高が減収となり、売上原価に含まれる固定費の比率が高まった結果、売上高は減少、利益率も悪化の結果となりました。

## 【AsReader事業 製品種類別の販売構成推移】

(構成比率：%)



### ■製品種類別の販売構成推移

2024年8月期においても、前期から引き続き、バーコードリーダーの構成割合が多い結果となりました。これらは、既にある市場での専用機からのスマートフォンへの置き換え需要であり、2025年8月期通期においてもバーコードリーダーの販売割合が多くなるものと予想しております。

2025年8月期はバーコードリーダー以外にも、RFID技術や画像認識技術を活用した製品群の販売も積極的に行い、販売台数及び売上高の増加を推進いたします。

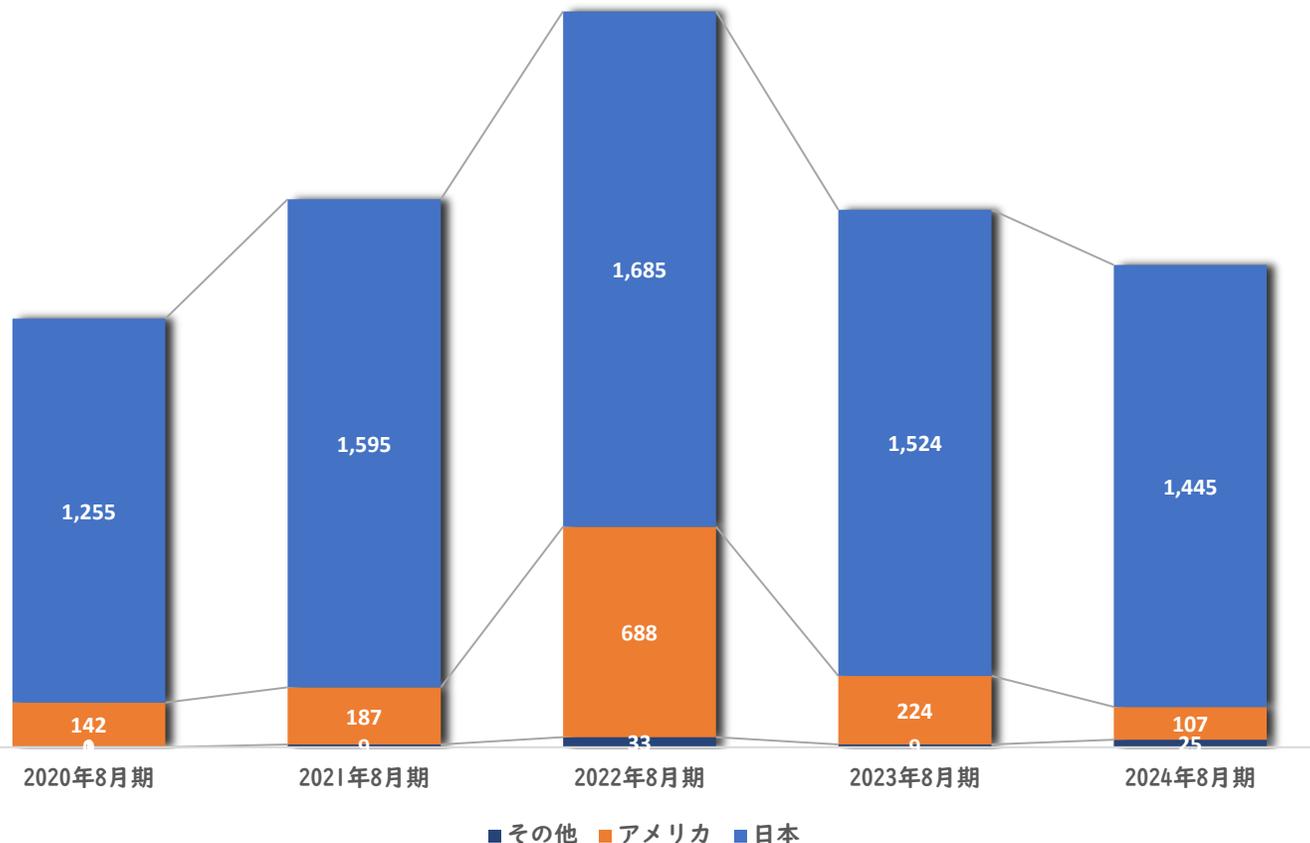
## (3) 地域別業績

---



## 【地域別売上高】

(単位：百万円)



### ■日本

小売業界、輸送業界、物流業界、医療業界、及び自動販売機業界向けの納品が進みましたが、前年の水準には及ばず、前年同期比▲5.2%の減少となりました。

### ■アメリカ

飲料メーカーへの追加納入があった反面、いくつかの新規大口案件の商談が進展していたものの、2024年8月期の納品まで進めることが叶わず、前年同期比▲52.2%となりました。

### ■その他

欧州、中国での販売になります。

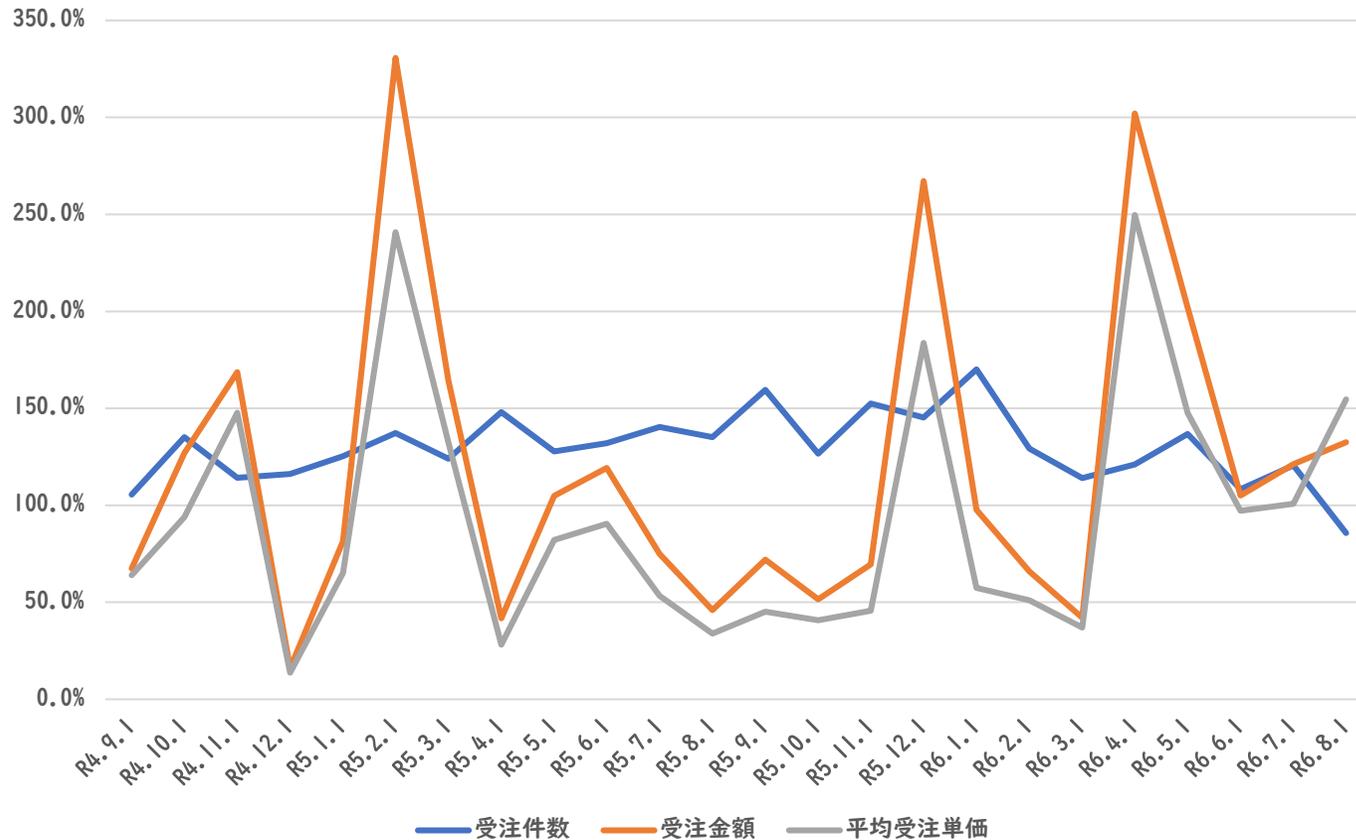
(注) アメリカ、中国の売上は決算月のズレの影響で7月から翌年6月までの実績で連結財務諸表を作成しております。

## ( 4 ) KPI

---



【受注関連情報（前年比率）】



【総括】

2024年8月期については、前年同月比で受注件数及び受注金額は増加したものの、平均受注単価は減少する結果となりました。

【受注件数】

期間中、8月を除くすべての月で前年同月比を上回る受注件数獲得を実現しており、結果、2024年8月期は前年比増加で推移しております。

【受注金額】

期間中、前年同月を下回る月が多く発生した反面、大きく上回る月もあり、2024年8月期は前年比増加で推移しております。

【平均受注単価】

2024年8月期は小規模・中規模案件の獲得が多くなり、2024年8月期は前年比増加で推移しております。

## (5) 株式関係

---



## 【大株主の状況】

株主名	2024年2月29日時点		2024年8月31日時点		備考
	持株数 (株)	持株比率 (%)	持株数 (株)	持株比率 (%)	
トリプルウィン株式会社	3,200,000	45.0%	3,200,000	45.0%	代表取締役 資産管理会社
伊藤忠紙パルプ株式会社	278,300	3.9%	254,300	3.6%	資本業務提携
鈴木規之	162,000	2.3%	162,000	2.3%	代表取締役
三菱UFJキャピタル5号 投資事業有限責任組合	120,000	1.7%			ベンチャーキャピタル
個人株主様	112,000	1.6%	105,000	1.5%	個人投資家
株式会社SBI証券	91,630	1.3%			証券会社
JPMorgan証券株式会社	88,600	1.3%			証券会社
野村証券株式会社			98,007	1.4%	証券会社
薛文宝	60,000	0.8%	60,000	0.8%	執行役員
個人株主様	51,000	0.7%	51,000	0.7%	個人投資家
株式会社キャスト	43,500	0.6%	40,500	0.6%	事業会社
アスタリスク従業員持株会			37,200	0.5%	従業員持株会
個人株主様			30,000	0.4%	個人投資家
その他	2,902,370	40.8%	3,075,393	43.2%	2024年2月28日現在 5,409名 2024年8月31日現在 5,494名
合計	7,109,400	100.0%	7,113,400	100.0%	—

## 【株価推移】



・当期（2023年9月1日～2024年8月31日）の株価推移を掲載しております。

・期間中の最高株価と最低株価は次のとおりです。

最高株価 911円  
最低株価 400円

・更なるチャレンジを実施、長期にわたった業績を意識した経営を行い、市場から適正な評価をいただけるように活動を実施してまいります。

## 第二部： その他企業情報

---



## ( 1 ) 2025年8月期 業績予想

---



## 【通期業績予想】2025年8月期

	2024年8月期 (当期実績)	2025年8月期 (業績予想)	(当期比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,578	2,719	1,141	72.3%
売上総利益	533	1,174	640	120.1%
売上総利益率	33.8%	43.2%		
営業利益	▲ 224	223	448	—
営業利益率	—	8.2%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 389	99	489	—
当期純利益率	—	3.7%		

## ■売上高

2025年8月期は、卸・小売業界、製造業界、物流業界向けを軸とした販売活動を行い、72.3%の増収として2,719百万円の売上を計画しております。

## ■売上総利益

2025年8月期は原価改善等を実施し、売上総利益率の改善を目指します。

## ■営業利益

2025年8月期は販管費を抑制し、223百万円を計画しております。

## ■親会社株主に帰属する当期純利益

2025年8月期はこのような営業外損益、特別損益の発生は計画時点では想定しておらず、99百万円を計画しております。

## (2) 直近のリリース情報

---



### IOTE 2024 (Shenzhen) に出展しました。

IOTE (International Internet of Things Expo) は、各種IoTソリューションが展示される国際見本市で、世界各国からの来場者を集めるアジア最大の見本市です。RFID分野の最新技術や、それらを搭載した製品が多数出展されます。

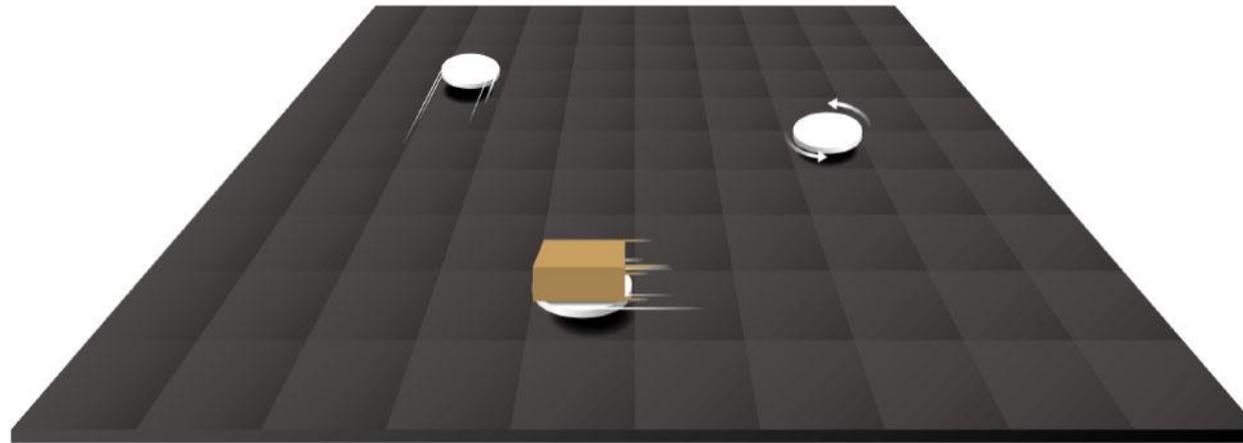
アスタリスクは、現地子会社「大連明日星科技有限公司」が出展。

RFID技術を使ったセルフレジが実現可能なRFID ReadingTubを中心に、バーコード、RFIDの機器やソリューションを展示しました。

大連明日星科技有限公司深圳支社のメンバーを中心に、日本からも社長の鈴木が急遽、応援に入りました。



# リニアモーター技術を活用した搬送ロボットシステム 「AsReader HAKOBU」を発表



## AsReader<sup>®</sup> HAKOBU

HAKOBUはリニアモーター技術を使った縦横に加えて回転運動をすることができる搬送ロボットシステムです。基本的な搬送ロボットシステムは、リニアモーターを備えたパネル状の「基盤部」と、荷物などの物品を搬送するための「トレー部」とで構成され、トレー部はバッテリーなどの電力が不必要であり充電などすることなしに連続運用し続けることができるのが特徴です。また、それぞれのトレー部が自由に移動することができ運用に応じた自由な搬送空間をつくることができ、これらの技術により物流や生産現場での物品の搬送や、飲食店の配膳など、様々な現場での自動化／省人化に向けたアプローチを提案してまいります。

# 【導入事例】全日本食品株式会社にAsReader「ASR-A24D」を導入 [発注・在庫管理] 店舗の発注業務・在庫管理業務の効率化実現へ



全日本食品株式会社様は、全国約1,600店の地域のスーパー、個人商店が加盟するボランティアチェーン「全日食チェーン」を運営しており、加盟店様への商品供給や経営・売り場指導、FSPなどのさまざまなサービスや情報を提供し、地域のお店をサポートされています。

この度、店舗の発注業務・在庫管理業務の効率化を目的に「AsReader DOCK-Type ASR-A24D」をご導入いただきました。

**【新製品情報】 iOS、Androidどちらも有線で利用可能！**

**スマートフォンに装着するバーコードリーダー「AsReader ASR-M24D」発表**



ASR-M24Dは、Android端末専用の高性能バーコードリーダー「ASR-A24D」をさらに改良した製品であり、AndroidOSだけでなくiOSでもUSB Type-Cで接続して利用することができることが特徴となっております。もちろんApple社が定めている性能基準を満たした製品に与えられる認証プログラムの「MFi認証」を取得していますので、安心してご利用いただけます。

スマートフォンと接続するUSB Type-Cコネクタにより、装着からアプリ起動、読み取り、データ転送が簡単かつ迅速に行えます。

バーコードを検出すると自動的に投光が発光して読み取りをおこなうプレゼンテーションモードにも対応。国内外の主要な一次元バーコードに加え、QRコードやPDF417などの二次元コードも読み取りが可能です。

# 顔認証端末「AsReader GoMA Professional」の販売を開始



カメラに顔を映すだけで、本人であることを認証する顔認証システムはiPhoneの「Face ID」で一般的に普及し始め、マンションの入り口や勤怠管理、イベントの入場などで活用されており、その利便性と効率性から、今後もさらに普及が進むと考えられます。

ただ、コストの問題やカメラの性能の問題などハードルが高く、簡単に導入できないという問題がありました。

AsReader GoMA Professionalは、顔認証専用エッジデバイスです。アスタリスクの顔認証技術AsReader Oneを採用し、設置するだけですぐ顔認証の技術をご利用いただけます。他サービスとの連携も可能で、勤怠管理や会員カードの本人認証を顔で実施することが可能です。



## 【Autonomous Mobile Robots & Logistics Conference 2024】

■2024年10月8日(火)～10日(木)

■Renasant Convention Center, Memphis, TN

2024年10月8日から10日まで、アメリカ テネシー州メンフィスのRenasant Convention Centerで開催された「Autonomous Mobile Robots & Logistics Conference 2024 (自律移動ロボット&物流カンファレンス2024)」に、当社グループのアメリカ現地法人であるAsReader, Inc.が初めて出展しました。展示会では、自律移動ロボット世界大手であるアメリカの企業「Locus Robotics」社の自律移動ロボット「LocusBots」と当社のRFID技術を連携させて実現する、物流の効率化と自動化に向けた新しいアプローチを提案した最新の倉庫管理システムを展示。また日本では2024年09月09日にリリースした、アスタリスクが開発を進めているリニアモーター技術を活用した搬送ロボットシステム「AsReader HAKOBU」も、今回アメリカで発表しました。

### **(3) 直近の展示会出展予定**

---



## 2. (3) 直近の展示会出展予定

### 【国内】

リテールテック大阪（インテックス大阪）

開催期間：2024年10月17日（木）～18日（金）

対象：小売・流通系

JAPAN BUILD 商業施設・店舗DX展（東京ビッグサイト）

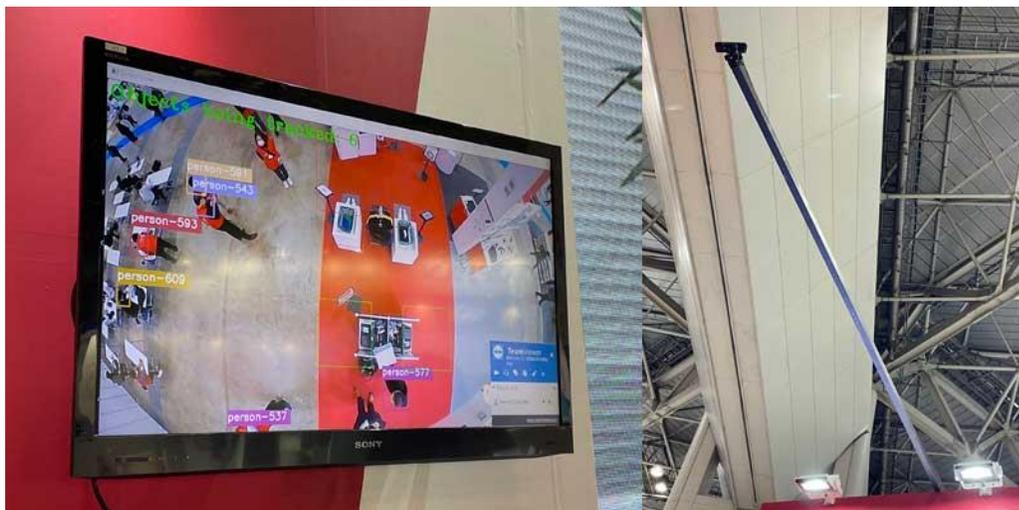
開催期間：2024年12月11日（水）～13日（金）

対象：建築・建設・不動産系

リテールテックJAPAN（東京ビッグサイト）

開催期間：2025年3月4日（火）～7日（金）

対象：小売・流通系



### 【海外】

PACK EXPO（アメリカ・シカゴ）

開催期間：2024年11月3日（日）～11月6日（水）

対象：包装・加工系

NRF 2025:Retail 's Big Show（アメリカ・ニューヨーク）

開催期間：2025年1月12日（日）～1月14日（火）

対象：小売系



## **(4) 2025年8月期以降の戦略**

---



「モノ認識」 「モバイル」

現場の業務をスマートフォンへ集約をすることで、  
効率化を実現します！

**機能別の業務端末**  
機器が個別にあるため無駄な動線が多い



機器の管理も多くて大変

# スマホによる 現場DX

対投資効果を最大にする



スマホ1台で業務が完結！  
機器の集約でコスト削減も



トヨタ自動車



川崎重工業



ブックオフ



アルペン



青山商事



ノーリツ



ほくやく



武蔵野ロジスティクス



ユカ



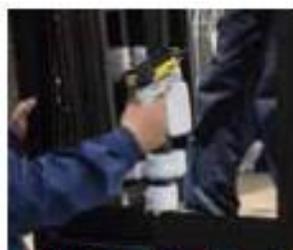
ルビー



国際空港上屋



丸一鋼管



長谷工コーポレーション



カーポートマルゼン



コンフェックス



パロー



大塚商会



SBS即配サポート



中部薬品



大阪警察病院



三重大学医学部附属病院



近畿大学病院



セコメディック病院



大手運送業

# スマホ性能が Point!



ベンチマークテスト (処理性能) などの  
 確認を推奨します。 **ハンディよりスマホがおすすめ!**



# 超簡単！

◆誰でも直観的に操作が可能  
慣れたスマホで、研修の必要もありません。

ある催事では、2,000人の短期アルバイトの方の  
使用端末をスマートフォンにしたところ  
研修時間もゼロで業務の実施が可能に。  
それまではマニュアル作成などの事前準備や  
研修会の実施などに膨大な時間が…



# 超便利！

◆専用機よりスマホアプリのほうが便利  
画面があることで視覚的な操作が可能になったり  
さまざまな機能をくみあわせて使えたり。

- ・インカムアプリでは  
録音や文字起こしの機能が付加され、見直しも可能に！
- ・報告業務では  
ある検査業務を行う現場では、スマホで写真を撮り  
音声入力でコメントを入力。報告書がその場で完成！

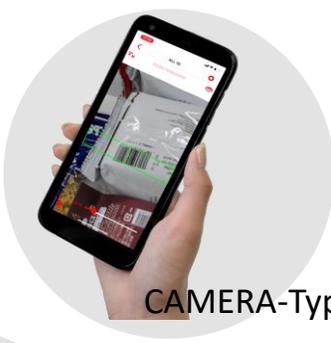


# AsReader®

スマートフォンが本格的な業務端末に！



DOCK-Type  
(iOS)



CAMERA-Type



Combo-Type



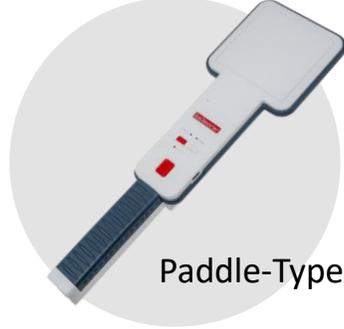
DOCK-Type  
(Android)



GUN-Type



IrDA-Type

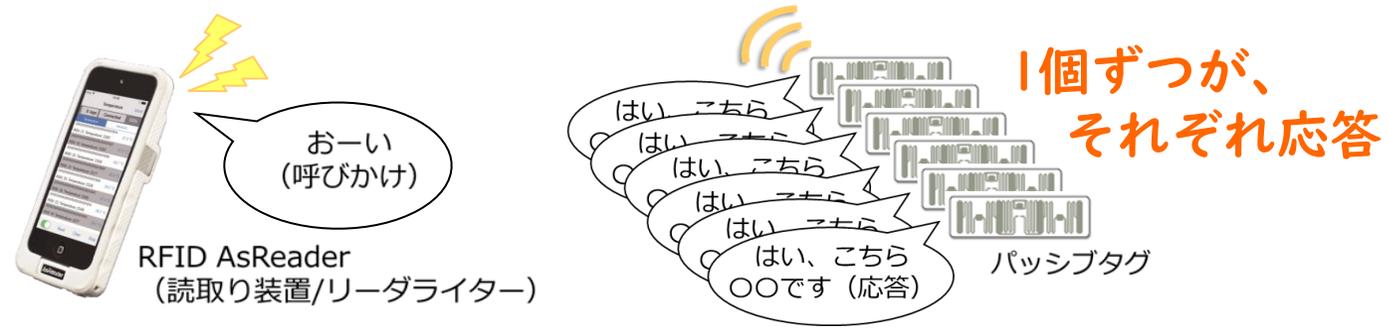


Paddle-Type

ただの専用端末としてではなく、さまざまな活用ができ  
幅広い業務での改革、カイゼンを実現します。

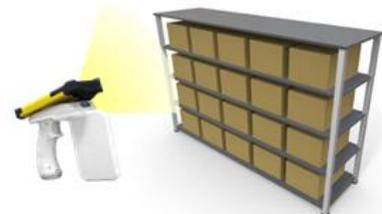
AsReaderは**業務改革・カイゼン**に最適です。

RFIDとは… 「Radio Frequency Identification」 の略  
電波を用いてRFタグのデータを非接触で読み書きするシステム  
電波が届く範囲であれば、タグが遠くにあっても読み取りが可能



あらゆるモノにRFタグがつけられることで、  
モノまたは人の様々な状況変化を的確に捉えることが可能となります。

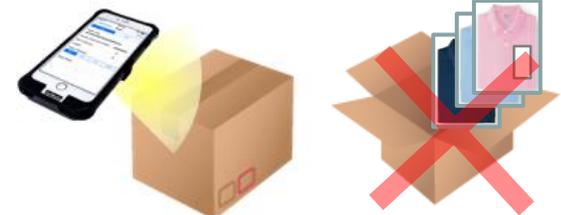
**非接触通信**  
遠くのタグも読み取れるので高いところのタグ等も読み取り可能！  
作業時間の短縮はもちろん、  
作業者の安全確保にも繋がります。



**一括読み取り**  
複数の商品が入っていても一括での読み取りが可能！  
バーコードのようにひとつひとつ読み取る必要がありません。



**透過性**  
箱などを開けなくても読み取り可能！  
作業効率が大幅にアップします。



### 自社でRFIDを研究開発 独自製品を多数展開

◆ かごを置くと中のタグだけを確実に読み取る RFID専用レジ台

レジでの効率化、人件費の削減はもちろん商品の入在庫管理などにレジ以外でも幅広く利用可能



**特許取得・譲渡済**

※参考ページ参照

◆ 世界初の伸縮タイプのRFIDリーダー



倉庫上段などの高所にある商品を、地上から手軽に読み取ることが可能

**特許出願中**

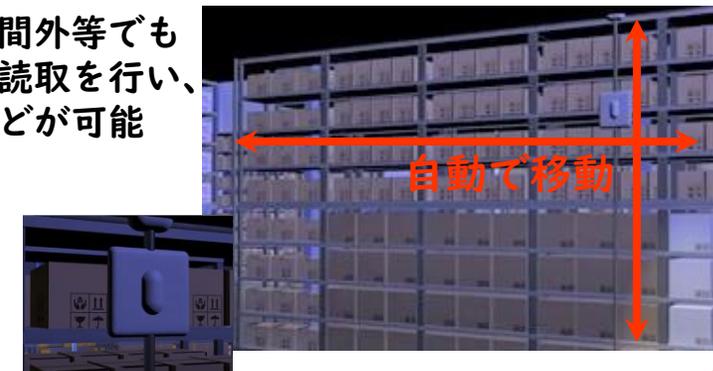
◆ RFIDゲート

箱の中の製品に貼付されたタグの方向が不規則でも、確実に読取ることが可能 読取精度が格段に向上



◆ 動くアンテナ

営業時間外等でもタグの読取を行い、棚卸などが可能



**特許出願中**

自動で移動





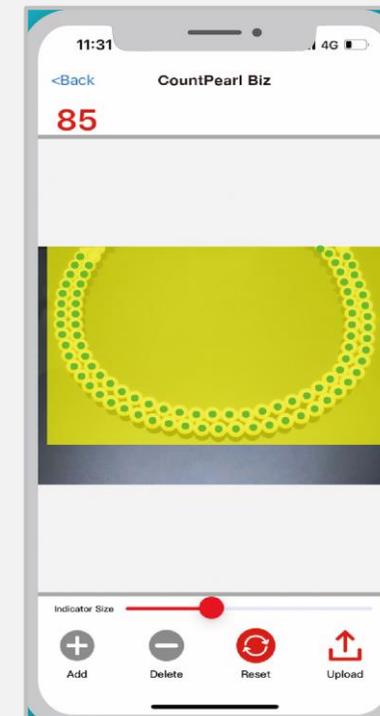
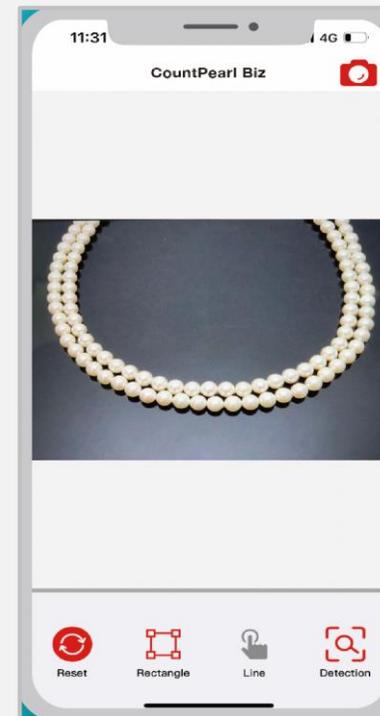
**As Key**  **Cube**  
鍵持出返却管理システム

### 数量カウント

- ① 今まで目視でカウントしていたものが、瞬時にカウントできます
- ② 範囲を指定でき、必要に応じて結果を修正することも可能です
- ③ 対象物にあわせたアプリの開発も可能です



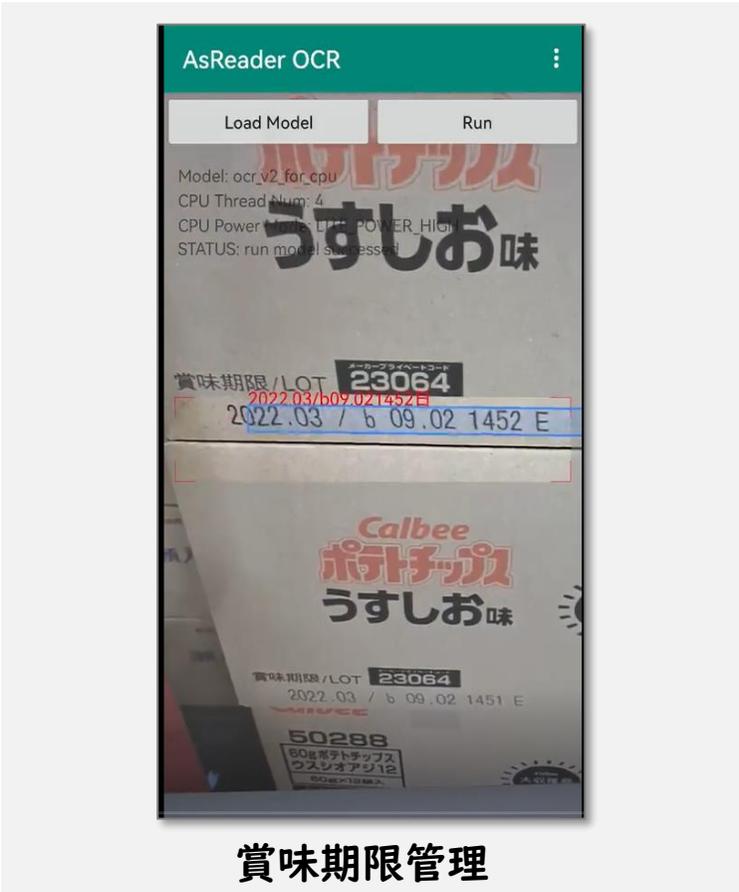
パイプカウント



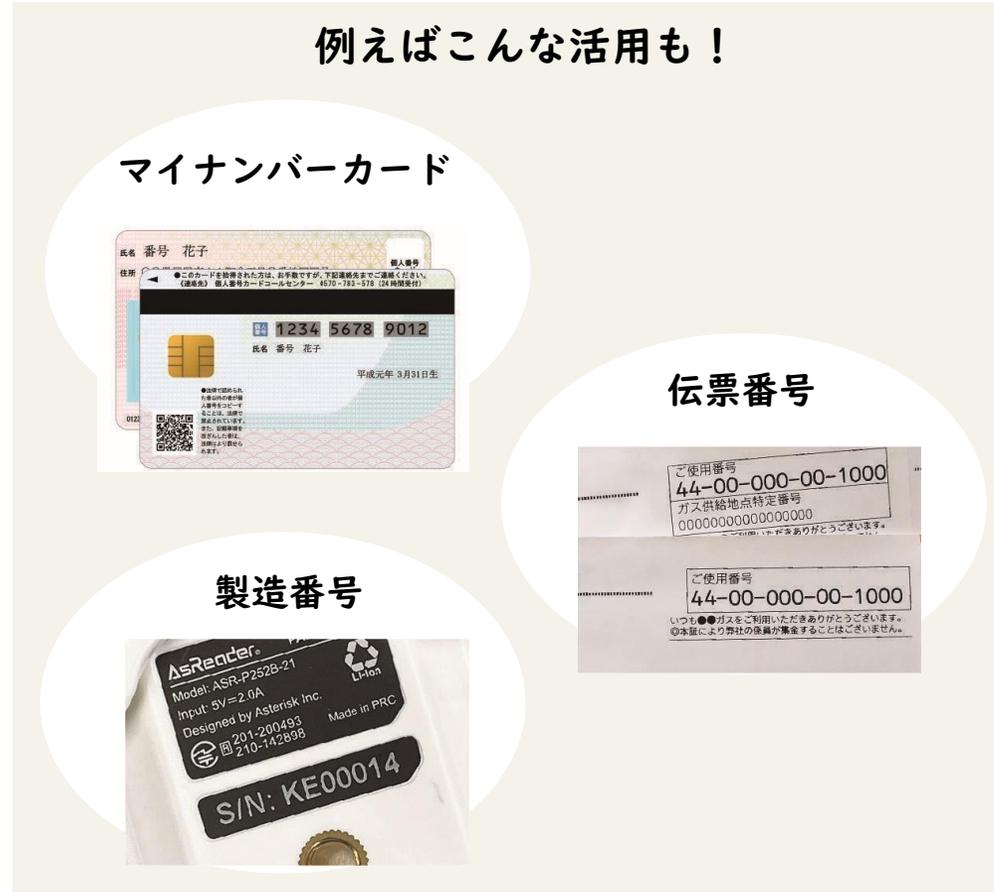
パールカウント

## 文字読取 (OCR)

- ① スマートフォンのカメラで撮影した文字・数字をテキスト化します
- ② 独自の解析技術を用い、高速かつ正確に認識できます。
- ③ 在庫管理や出荷時の許容切れ確認など、ミスのない作業をサポートします！



賞味期限管理



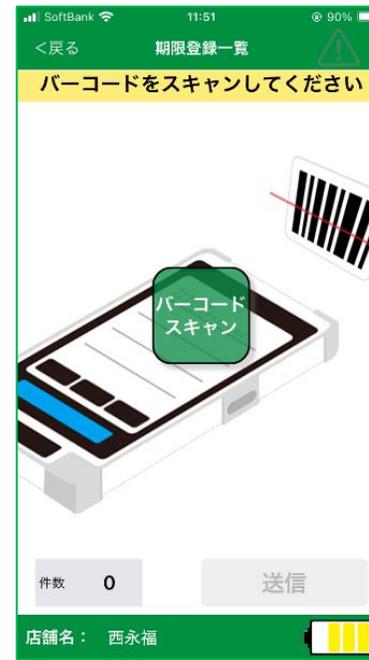
### 賞味期限 管理

スマホカメラのOCR による賞味期限管理で検品精度が劇的改善！  
「期限徹底管理」「作業工数削減」「フードロス削減」  
を実現します！

- ① スマホのカメラを利用し、賞味期限をOCRで読取ります
- ② AIを活用することで、さまざまな表示形式に対応できます
- ③ 万が一、賞味期限切れの商品場合は、画面にアラートが表示されます
- ④ 循環式方式で従来の作業時間の8割が削減可能
- ⑤ スマホでの作業なので、直感的、簡易に作業できます。



バーコードと  
賞味期限を1台で読取り



### 前捌き

前捌き端末でレジの行列を解消します！

- ①レジ待ちのお客様の商品を読み取り、POSへ連携できます
- ②POSではQRコードを読むだけですので、大幅に時間が短縮されます
- ③繁忙期や込み合う時間帯など、状況に応じて対応することができます



レジ待ちのお客様の  
商品バーコードを読み取  
り



読み取った内容を  
1つのQRコードへ



POSでQRコードを読み取り  
商品を登録



### アスタリスクの顔認証

顔認証は、端末のログインから入退場管理、  
決裁、会員証とそのポイント管理まで、  
幅広い用途で活躍しています。  
安心の「未来」を「今」体感してください。  
新しい時代のスタンダードを、顔認証が切り拓きます。

**手軽に使えて高セキュリティ、  
顔認証が提供する次世代のスタンダード**

## 顔認証技術を活かしたハードウェア セキュリティを強化した「AsReader GoMA Home / GoMA Professional」



エッジ（端末）側で顔認証をすることによりネットワークなしで手軽に利用可能な家庭やSOHO向けの「AsReader GoMA Home」と、ホテルなどの大型施設でのご利用を考えて、たくさんのドアの解錠管理や期限付き鍵の解錠コントロールを可能にした「AsReader GoMA Professional」を発表します。

写真や動画、マネキンなどでの「なりすまし対策」も大幅に強化し、セキュリティー面でも強力なものとなっております。ご家庭やSOHOなどでの少人数でのご利用から、ホテルや大型施設などでの大規模なご利用まで、多種多様な場所に活用いただけるものとしてご案内いたします。

# 革新的で新しい見せ方／より効果的な商品アピールと顧客体験の向上

### ① 新しい商品・人の見せ方

これまでにない方法で商品や人を展示することにより、話題性を喚起し、来店機会の増加を図ります。  
これにより、売上拡大が期待されます。

### ② 立体感のある展示

立体的な表現が可能となり、お客様はあたかも目の前で実物を見ているかのような感覚を味わえます。

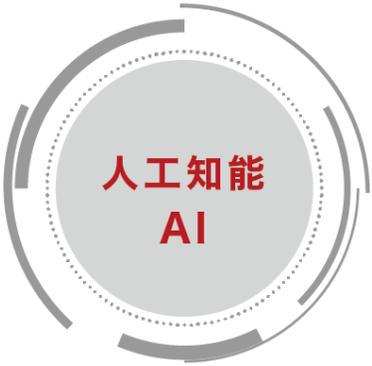
### ③ 透明ショーケースとのコラボレーション

透明ショーケースを活用することで、実物と映像を組み合わせた展示が可能。より魅力的な商品アピールを実現。

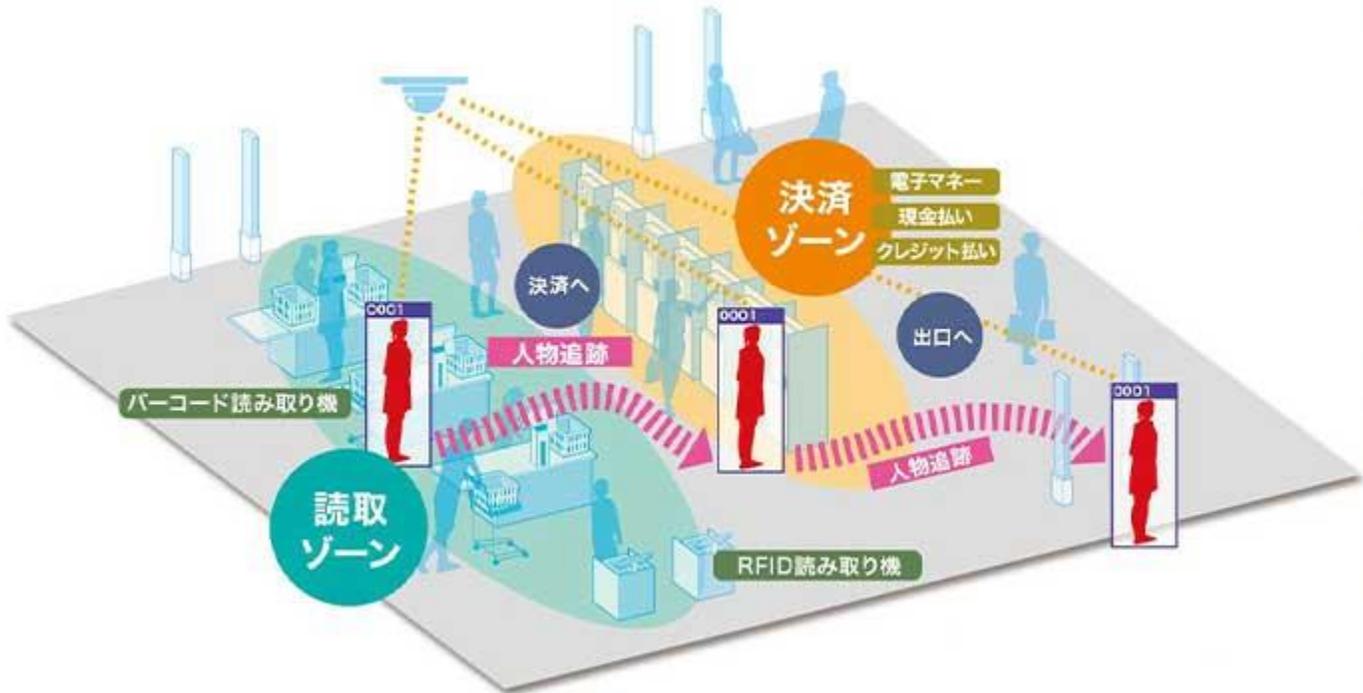


**[モノ認識] = 自動認識 + α**

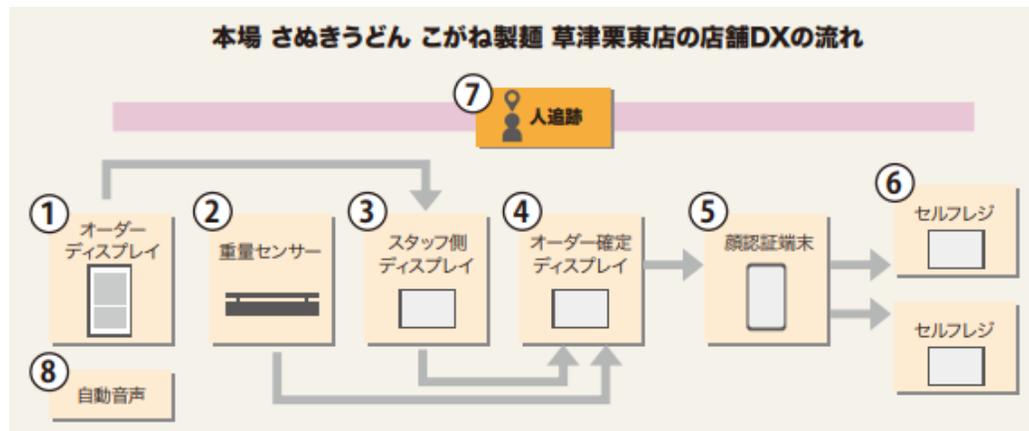
アスタリスクでは、いわゆる自動認識に、画像認識 (AIとその学習法を含む) やセンサーなどのデータキャプチャ技術まで加えた広い概念として”モノ認識”という視点で製品開発を行っています。



# 人追跡カメラを活用したセミセルフレジシステム



## 子会社 自動レジ研究所 での店舗DXの取り組み



お店での  
注文方法

② 天ぷらなどを選びます  
(お着でお取ください)



③ うどんを受け取ります



お席で、ゆっくりと  
お召し上がりください



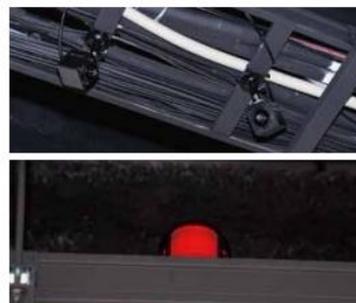
① 注文端末で、  
うどんを注文します



⑤ 薬味と、お飲み物などを  
どうぞ



④ 後ろの支払機で  
お会計をお願いします



広範囲での監視精度を向上させるために、天井に複数のカメラを設置して人物を追跡します。人物の位置のみを特定するので、その人がマスクや帽子をつけたり外したりしても、追跡が継続可能。こがね製麺 草津栗東店では最初のオーダーディスプレイから最後のお支払いまでのエリア内で、オーダー情報を人物に紐付けし、追跡することによりオーダーから会計までフルセルフシステムを実現しました。また、未会計でのエリアからの離脱には警告灯でお知らせをしています。



- ① 天井に設置した複数のカメラで人物を捕捉し、追跡
- ② 途中でマスクや眼鏡をつけたり外したりしても見逃しません
- ③ 追跡範囲や特定のイベントを捕捉するエリアを自由に設定できます
- ④ 購入商品を人物に紐付け、POSとの連携で人追跡機能付セルフレジが実現

## リニアモーター技術を活用した搬送システム HAKOBU



**商品名：**AsReader HAKOBU（アズリーダーハコブ）

**商品の概要：**リニアモーターを備えたパネル状の「基盤部」と荷物などの物品を搬送するための「トレー部」とで構成されます。コントローラは、基盤部に配置したそれぞれのコイルを制御することによりトレー部を稼働させます。

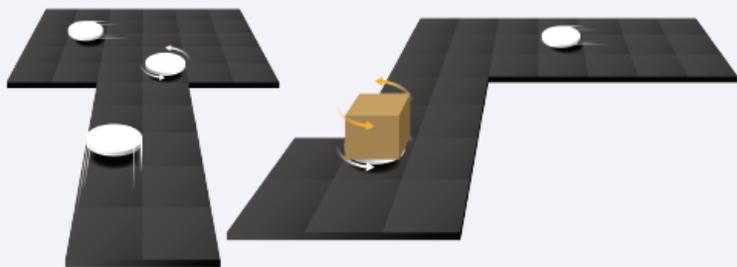
**基盤部の特徴：**リニアモーターを組み込んだ基盤部は、臨機応変に組み立てて設置が可能なように「タイル状」として提供を予定。搬送するためのトレーは電源などをもたないため充電の必要性なども全くなく縦横に加え回転運動をすることが特徴であり、かつ複数を同時コントロールが可能です。

# 幅広い運用に応じた搬送空間をつくる

AsRender. **HAKOBU**

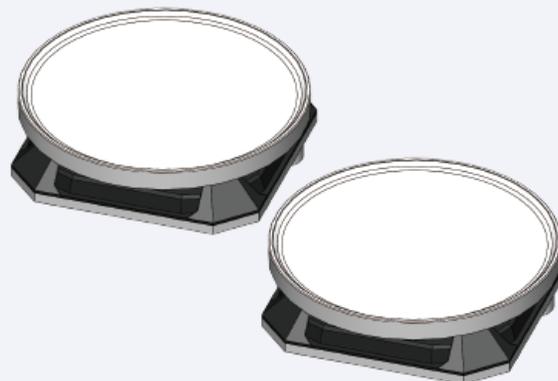
### 基盤部の特徴

リニアモーターを組み込んだ基盤部は、臨機応変に組み立てて設置が可能なように「タイル状」として提供を予定。従来のレールコンベアによる同一搬送路での稼働と異なり、基盤部の操作によってそれぞれのトレー部が自由に移動することができ、自由な搬送空間設計を可能としております。



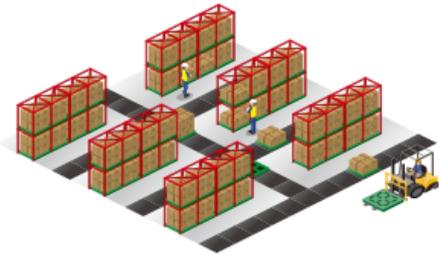
### トレー部の特徴

トレー部は、永久磁石のみの構成であるため電力が不要で、充電することなく連続運転できるのが特徴です。



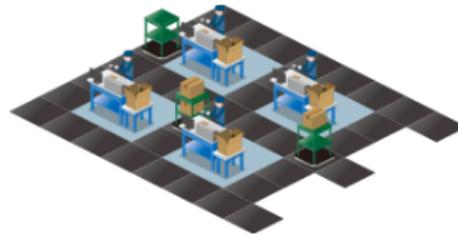
# 様々なシーンで自動化/省人化に向けた アプローチを提案します。

### 物流現場



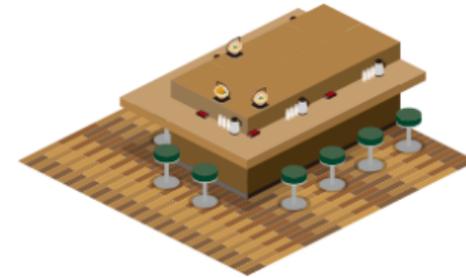
- 荷物を載せての自動搬送、自動仕分け
- パレットや籠車などをそのままトレーに置き換え
- 棚が移動するピッキング

### 生産現場



- 半製品を次工程に引き渡す製造ライン
- 回転運動を活用してオペレーターを補助

### 飲食店



- 飲食物の顧客席までの搬送、御膳の向きなども合わせて搬送
- 飲食後の片づけ補助

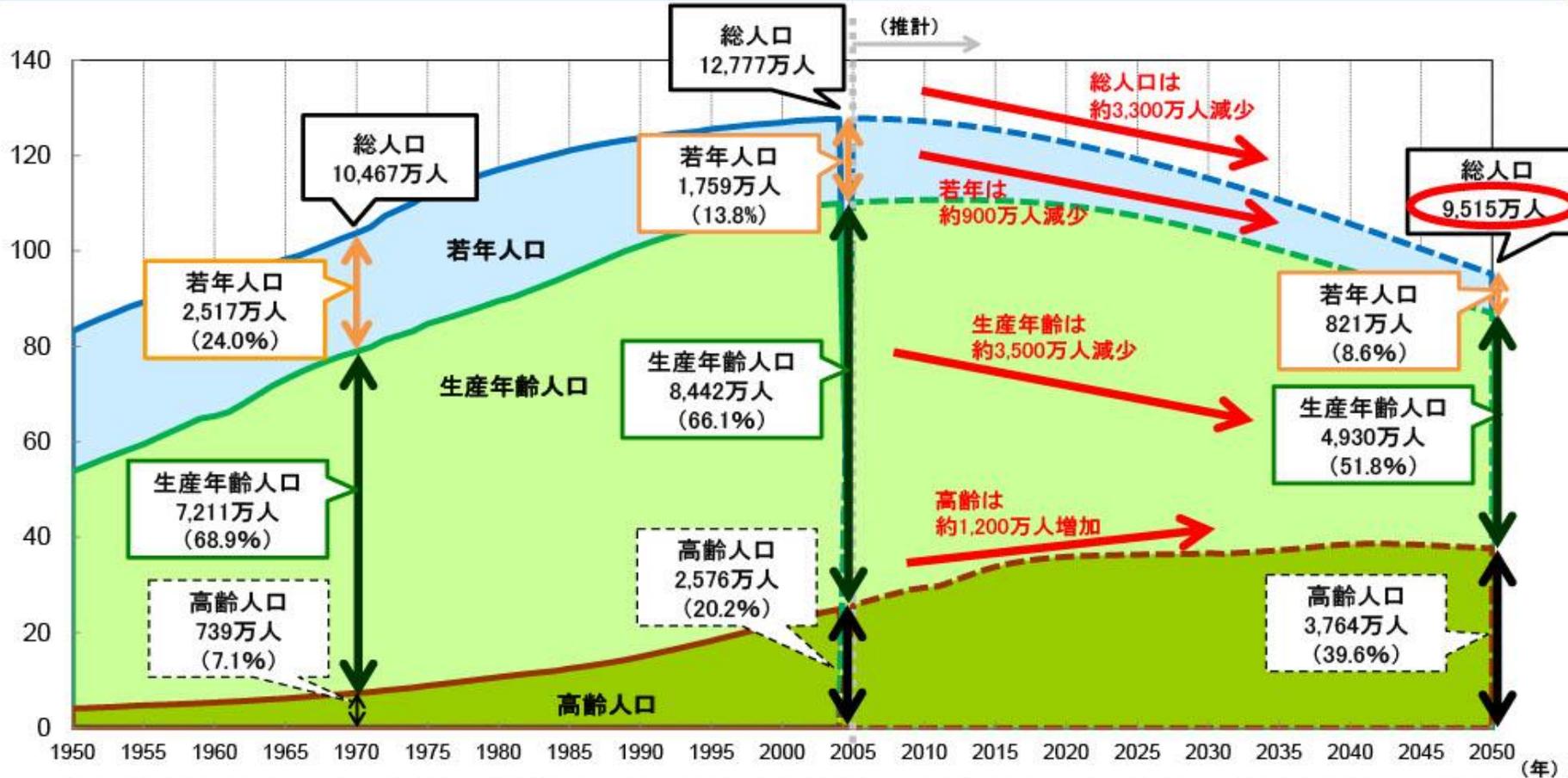
これからの世界の人口変異が顕著  
特に、日本は急激な人口減が

## 2050年には日本の総人口は3,300万人減少

 国土交通省

「国土の長期展望」中間とりまとめ  
(H23.2.21国土審議会政策部会長期展望委員会)

- 日本の総人口は、2050年には、9,515万人と約3,300万人減少(約25.5%減少)。
- 65歳以上人口は約1,200万人増加するのに対し、生産年齢人口(15-64歳)は約3,500万人、若年人口(0-14歳)は約900万人減少する。その結果、高齢化率で見ればおよそ20%から40%へと高まる。



(出典) 総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」における出生中位(死亡中位)推計をもとに、国土交通省国土計画局作成

(注1) 「生産年齢人口」は15~64歳の者の人口、「高齢人口」は65歳以上の者の人口  
(注2) ( )内は若年人口、生産年齢人口、高齢人口がそれぞれ総人口のうち占める割合

(注3) 2005年は、年齢不詳の人口を各歳別に按分して含めている  
(注4) 1950~1969、1971年は沖縄を含まない

**人に変わる自動化に寄与**

**→ 人類社会の進歩発展に貢献する**

## 【本資料へのご意見・ご質問】

本説明会資料に関するご意見・ご質問、及び、その他 I R に関するご意見・ご質問は、「I R お問い合わせ」よりお問い合わせください。

## 【I R お問い合わせ】

(URL) [https://www.asx.co.jp/ir/other\\_info/inquiry/](https://www.asx.co.jp/ir/other_info/inquiry/)

当資料は、株式会社アスタリスクのコーポレートサイトに掲載いたします。

(URL) <https://www.asx.co.jp/ir/library/presentations/>

## 【メールマガジン開始のお知らせ】

株式会社アスタリスクの決算情報、プレスリリース等の企業情報を配信するメールマガジンの配信を行っております。

配信希望の方は、【I R お問い合わせ】よりご連絡ください。

配信の停止も、【I R お問い合わせ】よりご連絡ください。

